

弱溶剤反応硬化形エポキシ樹脂系シーラー

# ワイドシーラー-EPO

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

内装仕上げの制限なし

弱溶剤形

低臭

特長

1液ワイドシリコン  
1液ワイドウレタン] での塗替用シーラーに最適!!



- エポキシ樹脂を使用することにより、下地に対する抜群の密着性を実現しました。さらに、弱溶剤形のため、既存塗膜を侵したり、リフティングさせる心配がなく塗替用途に最適です。
- 水性シーラーに比べ浸透性が良好であり、ケイ酸カルシウム板などの脆弱面への固着性に優れています。
- 1液形塗料であり、2液形塗料で問題になる調合ミスや、残塗料の無駄が生じません。
- 弱溶剤形のため、臭気がマイルドであり、ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆で環境に優しい塗料です。

## 用途

新設及び塗り替えの内外壁

### 適用下地

けい酸カルシウム板(密度0.8以上) (注1)、  
プレキャストコンクリート部材、  
コンクリートブロック (注2)、ALCパネル (注2)、  
せっこうボード、打放しコンクリート、セメントモルタル、  
スレート、窯業系サイディングボード

(注1) 乾式耐火被覆板などは塗装できません。

(注2) 新設の場合、ラフトンフィルター、スズカブラサフ等を塗り付け、平滑にしてください。

### 適用既存塗膜

合成樹脂エマルジョンペイント、  
アクリル樹脂塗料、ポリウレタン樹脂塗料、  
合成樹脂調合ペイント、リシン(セメントリシンは除く)、  
吹付タイル (注3)、単層弾性、  
スタッコ(セメントスタッコ、弾性スタッコは除く)

(注3) 旧塗膜が2液溶剤系フッ素樹脂塗料、シリコン樹脂塗料の場合は施工できません。

# 標準塗装仕様

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	新設時	・下地は十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ・ごみ、汚れなどを除去し、不陸・巣穴・段差・ひび割れ・ボードジョイント部などは、条件に適した材料・工法で下地処理を行う。				
	塗替時	・既存塗膜の浮き・膨れ・はがれ・脆弱層などは下地に適した工法で除去する。 ・汚れ、じんあいやチョーキングなどは、施工環境に適した工法で除去する。 ・外壁などで高圧水洗した場合は、下地を十分に乾燥させる。				
下塗り	ワイドシーラーEPO	100 (無希釈) ※1	0.10~0.17	1	16時間以上 ※2	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り
上塗り	1液ワイドシリコン 塗料用シンナー	100 0~20	0.3~0.4	2	(工程内)4時間以上 (最終養生)24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り エアレス塗り

※1 粘度調整をされる場合は、塗料用シンナーで希釈してください。 ※2 上塗りに水系塗料を塗装する際は、塗装間隔時間を4時間以上あげてください。

## 第四類第二石油類 第三種有機溶剤等

容量 14kg

色 (淡褐色) 透明

## 幅広い上塗り適合性

●水系塗料や弱溶剤系塗料、硬質から弾性まで各種仕上塗材の仕上げが可能

### 適用仕上塗材・塗料

AEPクリーンシリーズ	ラフтонフレッシュクリーン	ラフтонジャンボ	ニューモルコングロス(※3)
AEPモダン100	ラフтонフレッシュゆずはだ	ラフтон弾性ジャンボ	アクリルバーン(※3)
グロリス	リシンシリーズ	セラビューレシリーズ	1液ワイドウレタン(※3)
ラフтонEMエナメル	ラフтон弾性リシン	ビューレシリーズ	1液ワイドシリコン(※3)
エコシリーズ	ラフтонスタック	ニュートーン	ワイドウレタン(※3)
ユニシリーズ	ラフтонローラー	ニューモルコン(※3)	ラフтонワイドフツツ(※3)
ラフтон内部用	ラフтон弾性ローラー	ニューモルコンセミグロス(※3)	

※3 塗替時、既存塗膜が塗料用シンナーなどの弱溶剤で溶解する場合は、「ワイドシーラーEPO」+弱溶剤系上塗塗料(※2印の製品)の塗装工程でチヂミ(リフティング)を生じる場合がありますので、ご注意ください。また、強溶剤系塗料を上塗りに使用することはできません。

## 注意事項

### 塗装上の注意事項

- 気温5℃以下、湿度85%以上の場合は、塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・結露が予想される時、強風の時は施工を避けてください。
- 施工面は、十分に乾燥している(含水率10%以下、pH10以下)ことを確認してください。
- 塗料は十分に攪拌し、均一にしてから塗装して下さい。
- 仕様の数値は標準のものです。下地の状態、施工条件などにより、多少異なることがあります。
- 各工程の塗装間隔は、所定の時間を厳守して下さい。
- 塗料の取り扱い時、塗装時は換気を行ってください。また、塗装後も乾燥のために、換気を十分に行ってください。
- 素地の巣穴、クラック、不陸、目違いなどは、予め樹脂モルタルまたは、ラフトンフィラーなどで補修し、平滑にしてください。
- たれ、かすれ、塗り残しがないよう均一に塗装してください。
- 吹付け塗装の場合は、飛散防止に十分注意し、養生などを行ってください。
- 強溶剤系の上塗りは、リフティングを発生する可能性があるため、塗装は避けてください。
- 次のような下地の場合、付着不良や上塗りに弱溶剤系塗料を塗装するとチヂミを生じることがありますので、塗装を避けてください。  
・清掃が不十分で汚れが付着している下地  
・塗料用シンナーの拭き取りで取れる既存塗膜
- シーリング面に塗装する場合は、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリングの場合は、2回塗ってください。尚、シリコン系及びブチル系シーリングの場合は塗装を避けてください)
- シャッター・歩行部位への使用は避けてください。
- 開缶した状態で長時間放置しますと空気と反応し、増粘・皮張りを起こす恐れがあります。使用後の塗料は密栓し、塗料の残りが少ない場合は小さい容器に移すなどして冷暗所に保管してください。
- 塗装用具の洗浄はラッカーシンナーの方が容易です。

### 取り扱い上の注意事項

- 引火性液体ですので、火気のあるところでの使用は避けてください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますので、換気をよくし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないように必ず保護具を着用してください。
- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を使用してください。  
(防塵マスク、頭巾、保護めがね、長そでの作業衣、えり巻タオル、保護手袋、前掛けなど)
- 容器から取り出すときには、こぼれないように注意してください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気、臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。  
特に下記場所の保管は避けてください。  
(雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など)
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要などときには、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
- カタログに記載されていない下地や仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用前に最寄りの事業所へお問い合わせください。